

## 12月15日（木） 生徒会役員交代と協働活動の熱い引継ぎ 上宇部中学校

上宇部中学校では、毎年この時期の学校運営協議会で、3年生の現生徒会役員が協働活動の報告と次期生徒会役員への引継ぎを行っています。3年生は昨年この会での所信表明挨拶での緊張や今後の不安からスタートし、この一年間でいかに自身が成長できたかについて大変立派に発言していました。そして、この一年間でできたことできなかったことについて、2年生の新役員に示し、「後は任せた」と熱いバトンを手渡しました。2年生役員は「3年生の堂々とした態度に感心した。これからの一年間で自分もそうになりたい。」「今日はすごく温かい雰囲気、心地よかった。先輩が築いてきた伝統を引き継ぎたい。」とこちらも熱く応えていました。まさに子供が成長する素晴らしいコミスクです。



## 12月14日（水） 小中学生が参加した合同学校運営協議会 黒石中学校・黒石小学校・原小学校

黒石中学校区の合同学校運営協議会が、校区内全部の小中学校から児童生徒が参加して行われました。中学2年生、小学5年生がそれぞれ各校から10人ずつ参加し、「基礎学力を伸ばすために必要な学習経験」をテーマに、学校運営協議会の委員さんや先生と一緒に熟議を行いました。総勢約100人での熟議は、子供たちの生の声を聞きながら、家庭、地域、学校でできることを話し合いました。校区内の小中全ての学校の生徒が参加しての合同学運協は初めての実践です。





12月12日（月） 収穫したもち米を市内の子ども食堂に  
厚東小学校

厚東小学校では、地域の協力を得て、毎年米作りを行っています。今年も10俵のもち米が収穫できました。以前は地域の祭りや他校との交流活動等で活用してきましたが、コロナ感染症の影響で今年は学校の給食でおこわにして味わう活動しかできませんでした。おいしいお米を他の学校の子供達にも味わってもらいたいという児童の思いから、市内3か所の子ども食堂（見初・船木・西宇部）にもち米を寄贈しました。贈呈式では、保健給食委員会の児童が目録を渡しました。贈呈式には活動に関わる厚東地区の学校運営協議会、社会教育推進委員会の方々も参加しました。地域を挙げた素晴らしい取組です。



12月11日（日） 中高合同清掃活動  
上宇部中学校・宇部高等学校

上宇部中学校と宇部高等学校の生徒が地域の方と一緒に地域清掃を行いました。中高生それぞれ40名近くの生徒が参加し、沼公園方面、神原公園方面、琴崎八幡宮方面、上宇部中・宇部高周辺に分かれ活動しました。燃えるごみ、プラごみ、資源ごみなどと分別しながら、短時間で袋いっぱいのごみを集めました。中学校と高校が連携した取組が少しずつ始まっています。地区内の高校生も参加したより幅広い取組を通して、地域に愛着をもち地域を大切にする心を育み、その心を大人になってももち続けてほしいと思います。





12月7日（水） 学校図書館の積極的な地域開放  
藤山中学校

図書室の地域開放は多くの学校で進めています。大半の学校では図書室が校舎内にあることから、なかなか取組が進んでいませんでした。藤山中学校の図書館は、校舎の中ではなく、校地内に単独に建てられています。そこで、この立地条件を生かして、積極的に地域に開放して、多くの地域の方々に来校していただくという新たな取組が始まりました。先日、学校入り口に立派な看板を設置されました。今後は、市立図書館とコラボし、より多くの本を借りることができるよう工夫をしていくとのこと。学校の地域貢献の素晴らしい取組です。



地域の専門家による興産大橋の話



12月2日（金） 大学や地域の専門家との連携による深い学び  
原小学校

原小学校では、山口大学や地域の専門家と連携して、原地区だからこそその学習を進めています。3年生の総合的な学習の時間では、9月に山口大学工学部の鈴木春菜准教授の「身近なインフラを探してみよう」という出前授業を受け、その後、自分たちで地域のインフラを探しました。途中、宇部興産大橋の設計に携わった地域の方のお話も聞いたりしながら大変熱心に地域内を探索し、この日発表会を行いました。鈴木先生も参加していただき、いろいろなインフラの役割などについて子供たちの疑問に答えていただきました。地域に根差したテーマで授業を創り、大学や地域の専門家と一緒に学ぶことで、子供たちの探求心も掻き立てられ、深い学びを行うことができました。





11月20日（日） ゆるキャラを広め、地域貢献に！  
岬小学校

岬小学校では、11月1日（火）、学校運営協議会に参加した児童が、岬小のゆるキャラ「みさぼん」を地域に広め、地域貢献にもつなげたいという思いを伝えました。11月20日（日）、岬地区文化祭では、5年生考案の「みさぼん体操」を披露し、来場の皆さんも一緒に体をほぐされました。子ども達は、みさぼんと一緒に体操し健康になりましょうと呼びかけていました。



11月18日（金） 小・中合同で地域貢献活動  
船木小学校・楠中学校

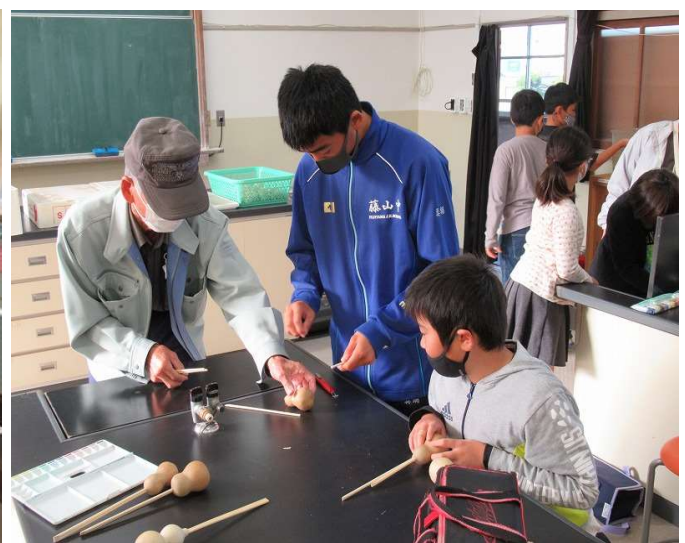
船木小学校、楠中学校では、11月18日（金）合同の地域貢献活動に取り組みました。楠中学生徒会は、事前に地域のニーズを把握した上で、隣接する船木小学校にも呼びかけました。校区内の歩道等の清掃、保育園の芋ほり作業支援、学びの森くすのきでは、石鍋洗い（後日展示予定）等多岐にわたります。活動後、生徒代表は「地域が美しいのは地域の力、私達もその一員として協力したい」と力強く述べている姿が印象的でした。





### 11月12日(土曜日) 新入生とその保護者対象 学校見学会 常盤中学校

11月12日(土)常盤中学校では、来年度新入生とその保護者を対象に学校見学会が開催されました。見学会には、恩田小、岬小、常盤小、琴芝小4校の児童・保護者の希望者約200名が参加していました。校長先生から歓迎を受けた後、全学年、全クラスの授業参観、1年生からの歓迎メッセージ並びに部活見学がありました。歓迎メッセージでは、私も入学前、不安で一杯でしたが、入学してみると優しく教えてくださる先輩や、話しやすい他校出身の皆さんとの出会いが、常盤中学校生活を楽しいものにしてきていますとの紹介がありました。親子で、しかも土曜日に進学校を参観できて、嬉しいと瞳を輝かせている姿が印象的でした。



### 10月28日(金曜日) 4年生の総合「秋祭りにひょうたんを飾ろう」 鵜ノ島小学校

10月28日(金曜日) 鵜ノ島小学校では、4年生が総合的な学習の時間で「ひょうたん飾り」に取り組みました。理科の学習で育てたひょうたんを使って、種を取り除き、綺麗に着色し秋祭りに展示しようという活動です。今年度も地域の皆さんにご指導いただき、楽しく作成できました。体験学習でふれあいセンターに来ていた中学生も飛び入りで指導に加わってくれたとのこと。ひょうたんづくりは何年も続いている活動です。中学生からアドバイスをもらったり、ほめてもらったりして楽しい学びになったようです。ひょうたん飾りを通じて、小・中学生、地域の皆さんとのつながりが深まりました。





10月22日(土曜日) 千林尼石畳清掃 地域貢献活動  
楠中学校

10月22日(土)楠中学校では、3年生を中心に約30名の生徒が、船木活性化懇話会の皆さんと共に、千林尼の石畳(厚東と船木を結ぶ江戸時代の幹線道路)の清掃活動に汗を流しました。この道は、当時ぬかるみが多い難所で、千林尼が托鉢で募金活動により石畳とした道です。懇話会の皆さんと生徒は、朝8時に船木ふれあいセンターに集合し、徒歩で現地まで行き、11時半まで、石畳の上に降り積もった落ち葉や枯れ枝を取り除く作業に、力を合わせました。参加者の皆さんは、地域資源の保存という貢献活動に参加することにより、千林尼の偉業と、貢献意識の大切さに触れることができたとのことでした。